

# 超音波診断装置 仕様書

## ○品名

超音波診断装置

## ○機器構成

超音波診断装置 一式

(メーカー名) GEヘルスケア・ジャパン

(製品名)	Voluson P8 with Battery	1台
	DICOM	1式
	VP8 ビデオコンバーターセット	1式
	経腹用4C-RSプローブ	1本
	経膈用IC9-RSプローブ	1本
	SONY 白黒デジタルビデオプリンタ UP-D898MD	1台

(※搬入、据付、配線、画像連携・部門システム接続に係る全ての作業を含む)

## ○仕様

### 1 超音波診断装置本体

- 1 - 1 装置本体の概要に関し、以下の特徴を満たすこと。
- 1 - 1 - 1 観察用モニターはLEDタイプの17インチ以上で解像度は1280x1024 以上であり、操作パネルを明るくするタスクランプと音声録音用マイク内蔵であること。
- 1 - 1 - 2 Bモード、Mモード、PWドプラモード、CFMモード、PDモード、HD-Flowモードを有すること。HD-Flowモードは高感度ではみ出しを抑えた血流表示方向を表示可能なパワードプラであること。
- 1 - 1 - 3 産科計測項目であるBPD、AC、HC、HL、FLを自動計測する機能を有すること。
- 1 - 1 - 4 High Resolution Zoom (HD Zoom) モードと通常Zoomモード (Pan Zoom) の2種のズーム機能を有すること。  
HD Zoomモードは選択したROI内の音線密度を上げ、高画質を実現するZoomモードであること。
- 1 - 1 - 5 リアルタイムオートドプラ計測機能を有すること。
- 1 - 1 - 6 計測結果、グラフ、超音波画像3枚を1枚のレポートで表示する機能を有すること。
- 1 - 1 - 7 DICOM 3.0に準拠したデータ通信機能を有すること。
- 1 - 1 - 8 バッテリーを有しACコンセントを抜いても電源が落ちずスキャンを継続する機能を有すること。
- 1 - 1 - 9 出力端子はDVI、D-Sub15pin、S-Video、Composite(BNC、RCA)を有すること。
- 1 - 1 - 10 保存画像はRaw Dataがゆえ以下の項目が調整できる：Zoom、ゲイン、ダイナミックコントラスト、グレーマップ、SRI、エッジエンハンス、PWモードの角度補正・スイープ調整・スケール変更であること。
- 1 - 7 - 11 PWモードではPS、ED、MD、PS/ED、PI、RIが自動計測ができること。

### 2 プローブ

- 2 - 1 2D経腹プローブに関し、以下の仕様を満たすこと。
- 2 - 1 - 1 周波数は2.0MHz～5.0MHzの範囲以上であること。
- 2 - 1 - 2 ハーモニックイメージング対応であること。
- 2 - 1 - 3 視野角は81° 以上であること。
- 2 - 2 2D経膈プローブに関し、以下の仕様を満たすこと。
- 2 - 2 - 1 周波数は2.9MHz～9.7MHzの範囲以上であること。
- 2 - 2 - 2 ハーモニックイメージング対応であること。
- 2 - 2 - 3 視野角は181° 以上であること。

### 3 記録機器

- 3 - 1 白黒プリンタに関し、以下の仕様を満たすこと。
- 3 - 1 - 1 印刷方式は感熱記録方式であること。
- 3 - 1 - 2 256階調以上であること。
- 3 - 1 - 3 デジタル式 USB接続であること。
- 3 - 1 - 4 本体パネルから操作可能であること。

### 4 その他の要件

- 4 - 1 その他、以下の要件を満たすこと。
- 4 - 1 - 1 既に稼動している産科カルテシステム (FINDEX社製) との接続を行うこと。
- 4 - 1 - 2 当院職員に対する操作指導として、納品時もしくは設置後、納品場所にて操作トレーニングを実施すること。
- 4 - 1 - 3 本仕様書に明記されていない事項及び疑義が生じた場合には、速やかに当院担当者と協議の上、その指示に従うこと。